

vol. 27

2023年  
5月

組合だより

# 森と、杣と。

Mori to Soma to



高島市森林組合

## INDEX

- 01 森林組合の広域合併について
- 02 三日月知事が来組
- 03 スマート林業の現在地
- 04 コラム「朽木杣と子田上杣」
- 05 主伐、再造林施業への取り組み  
vol.3 職員の横顔
- 06 林材ライター 赤堀楠雄さんの講演会を開催  
安井建築設計大阪事務所の視察を受け入れ  
vol.4 職員の横顔
- 07 **ダグさん**  
台風に注意 / 名義変更にご協力ください  
令和5年度総代会
- 08 New Face! 新入職員座談会 in 森林公園くつきの森
- 10 組織図  
アンケート&プレゼント

# 森林組合の 広域合併について

県内森林組合の広域合併については、滋賀県森林組合連合会（以下 県森連）および滋賀県による主導のもと、一県一組合を目途に協議が進められています。合併の目的は、本来的には単位森林組合の経営基盤や執行体制の強化、経営の合理化、安定的な労働力の確保などが挙げられます。しかし、協議においては、一県一組合とする合併により、県森連組織を解散することを主たる目的と

していると言わざるを得ず、単位森林組合としての合併効果の検証は不十分であるという懸念が拭えません。合併により想定される単位森林組合としての効果や課題は下記のとおりです。これを総合的に勘案し、現時点において県全域の広域で合併することのインセンティブは低いと判断されるため、高島市森林組合として現状の組織体制を継続します。

## 広域合併による効果（メリット）と課題（デメリット）

### メリット

- **経営基盤の強化**  
（新規事業参画、施設の共同利用、対外信用度の増加など）
- **執行体制の強化**  
（役職員の適切配置、職務権限明確化による機能強化など）
- **経営の合理化**  
（事業管理費の節減、事務の集約化、規模拡大によるコスト低減など）
- **安定的な労働力の確保**  
（作業員の通年就労、社会保障制度の充実など） 他

### デメリット

- 組織機能の集約化による**組合員情報の把握困難**や**組合員へのサービスの低下**
- 組織の規模拡大による組織内コミュニケーションの不備がもたらす**機能不全**
- 地元市町との連携関係の希薄化、事業実施や設備投資に対する**助成・支援の低減**
- 保有する**財産**（山林価値、保有資金など）の**実質的流出** 他

### 検証

広域合併を経て組織を集約化することで一定の効果は期待できますが、県全域での合併は組織が過大となり、その機能性を損なう恐れがあります。

一方で、現状の組織体制の継続により、組合員サービスの低下を防いで、組織内コミュニケーションを確保することは可能です。また、本組合の地区が高島市域と一致する一市一組合であることで、地元自治体との関係継続が可能となります。さらに、組合員が保有する豊かな山林資源および組合が保有する資金を地区内で活かすこともできます。

### 評価

単位森林組合組織の在り方については、一定の規模により構成することは必要ですが、必ずしも県全域で一つにまとまる必然性は認められず、現状の組織の規模が妥当と考えられます。

については、現時点において県全域での広域合併に加わることのインセンティブは低いと判断されるため、高島市森林組合として現状の組織体制を継続することとします。

## 今後のミッション

- ICT 技術や高性能林業機械の導入による先進的林業の展開
- 豊富な山林資源を多面的に評価し、多様な林産による規模拡大
- 製材加工業との連携による林産物の付加価値を増大
- 組合員とのつながり強化と林業従事者の人材確保育成
- 地元自治体や地域と連携した社会的貢献の発揮

# 三日月知事と意見交換

～スマート林業に力を入れていく～

令和5年1月18日、滋賀県の三日月大造知事が、県が取り組む『北部の日』の一環として当組合を訪ねて来られました。現場の視察や職員との意見交換を通して高島市における林業の課題と可能性について紹介する貴重な機会となりました。

当日は、雨が降りあいにくの天候になりましたが、安曇川町中野地先において杉林を主伐した現場で広葉樹の苗木を植える作業の視察とともに知事自ら植え付けていただきました。この現場は、集落近くの田んぼに沿って設置された獣害柵の山側に位置し、成長した杉林が田んぼへの日照を遮ったり、獣害柵へ倒れるなどの被害を未然に防ぐために皆伐し、中低木の広葉樹に植え替えました。

そのあと、知事は組合土場へ移動され丸太の選別作業を視察。山から伐採、搬出されてきた丸太を建築用材やベニヤ材、チップ材などの用途によって分類していくスムーズな重機作業に注目されました。

最後に、会議室で知事と職員が意見交換をしました。組合からは全



植樹をする三日月知事



職員が参加し、高性能林業機械「ハーベスタ」による伐採作業の映像紹介をはじめ、それぞれのセクションの業務の説明のほか、今抱えている課題や悩みについて率直に話し合われました。特に当組合がかねてより注力している「スマート林業」については、知事の関心も高く、ドローンの他、測量アプリなど情報通信技術（ICT）を活用した課題解決の可能性を参加者全員で実感しました。知事からは県下全域で飛行機による航空レーザー測量が進行しているとのお話もあり、今後高島市域でのデータの整備が期待されます。

◀ 組合職員と意見交換

▼ 2023年1月19日京都新聞朝刊

た。  
同日はほかに、エネルギーの地産地消などに取り組む橋本燃料（同市今津町）で意見交換を行った。17日

滋賀県の三日月大造知事は18日、高島市森林組合（同市朽木野尻）の職員らと意見交換し、林業の在り方や「スマート林業」について語り合った。月に1回、県北部の自治体で公務に取り組み「北部の日」の一環として行った。  
三日月知事は職員ら12人と車座になって意見交換。高性能林業機械「ハーベスタ」で伐採や搬出作業が効率的になった様子を映像で見せ、強い関心を示していた。さらに「スマート林業」や県産木材「びわ湖材」について話題になった。スマート林業では、同組

## 「スマート林業」知事ら議論 北部の日 高島市森林組合など訪問



林業のあり方や「スマート林業」について語り合う三日月知事と高島市森林組合の職員ら（高島市朽木野尻）

は高島合同庁舎（同）で執務したほか、安曇川高（同市安曇川町）ウエイトリフディング部を訪れた。（山合了輔）

合はドローンで空撮した精度の高い写真を落とし込んだ地図を活用して山林の境界線を明確化する作業などに役立てており、職員から「山に入らなければ分からなかったことが可能になった」と説明を受けた。  
意見交換後の取材に対し三日月知事は「林業は北部振興の一つのテーマとなるので、いろんな意味から応援していきたい。県が取り組んでいるスマート林業にも力を入れたい」と語った。同組合業務課主任の桂田孝太さん（38）は「インフラ整備を進めてもらえるのはありがたい」と話し

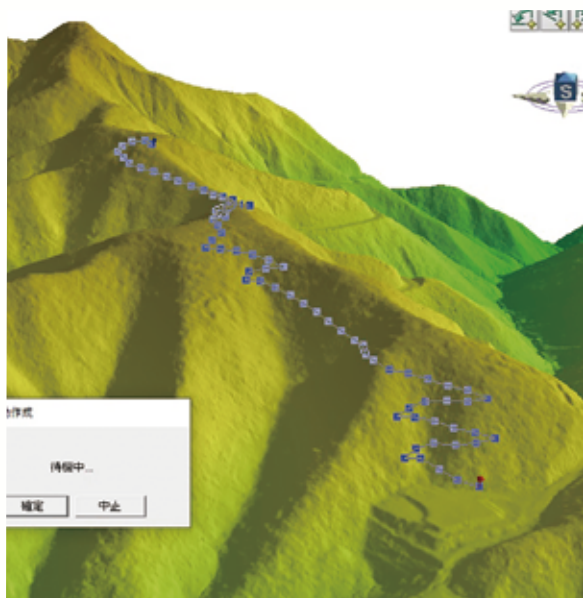
## 高島市森林組合

## スマート林業の現在地

スマート林業とは、最新の情報技術やリモートセンシング技術（遠く離れたところから、対象物に触れずに対象物の形や性質を測定する技術）を活用して森林の管理を効率化し、持続可能な林業を実現する手法です。これにより森林の生産性向上や環境保護が図られます。

三日月知事との意見交換の場では、高島市内の航空レーザー測量による山のデータの取得、分析についても知事より言及がありました。航空レーザー測量とは飛行機からレーザーを広範囲に照射して木々の形や地形を把握する技術で、近い将来にこれが整備されると実務において様々な作業の効率化が期待できます。

そのひとつが森林作業道の開設です。今までは人が現地で把握するしかなかった現場の細かな地形が事務所にいながら把握でき、それをもとにコンピュータに自動で最適路線を描画させることもできます。これにより現地を調査する回数が減り、業務のスピードアップが期待できます。もうひとつに山の資源量の把握があります。今まで山の中にどれだけの量の木材があるかを調べるには現地で本数を数え、一本一本の直径や高さを調べるしかありませんでした。しかしレーザーで取得した樹木の表面（樹冠）のデータと地表のデータを組



コンピュータにより自動的に作成された作業道線形

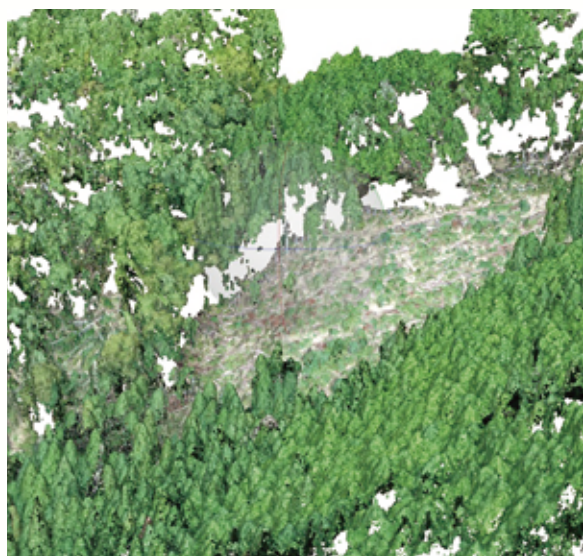
み合わせることで本数と高さを調査することができ、効率的に広範囲の資源量調査が可能となります。

当組合でもこの整備予定のデータを活用すべく令和4年度に「Assist Z」というソフトウェアを導入しており、これらのことが可能になりました。さらに、航空レーザー測量のデータはあくまで飛行機を飛ばしたその時のものですが、当組合に既に整備済みのUAV（ドローン）と写真の3D化ソフトを使用することで、そのデータの更新にも備えています。



◀ これまでの等高線図

航空レーザー測量により作成された微地形図



ドローンの写真から作られた山の3Dモデル



# 主伐、再造林施業を進めています

スギやヒノキの人工林は、その多くが戦後の拡大造林期に植栽されました。現在では50年生以上の成熟した林となり、木材資源として本格的な利用に適した収穫期を迎えています。収穫期を迎えた林では、計画的に面的な伐採(主伐)をし、その跡地に苗木を植えて(再造林)、年齢の若い林を整備していくことで、森林の年齢構成を均一にして、次世代へ安定的な木材資源を供給していくことが可能となります。

令和3年度より皆伐、再造林施業に対応する国の補助事業として「花粉発生源対策促進事業」が新設され、当組合では現在、安曇川・朽木地域を中心に進めています。これは今や国民病となったスギ花粉症対策として新設されたもので、50年生以上の人工林(スギ・ヒノキ林)を皆伐し、少花粉スギのコンテナ苗、もしくは広葉樹のコンテナ苗を植栽することで、花粉症対策を促進させつつ、森林資源の循環を促していくというものです。森林資源の成熟に伴い、主伐への補助要望を受けて新設された経緯もあり、当組合では、木の収穫につい



少花粉杉を植栽

てお考えの方や、道路沿いに立地し、倒木がご心配な方に本事業をお勧めしています。

近年の木材価格は、長く続いてきた低迷期からは一歩進み、資源として見直されつつあります。現場の立地条件次第では、伐採後の枝葉を市内の産業廃棄物処理業者と連携し、引き取りしてもらうことで、整理手間を軽減し、所有者の方にはきれいになった現場を見て感激していただいています。また、再造林後の獣害対策についても廉価な方法を試験的に実施しています。

所有されている森林について、主伐して再造林するのか、それとも間伐して保育期間を延長するのか、今後どうしていけば良いのか分からないといったお問い合わせを沢山いただいています。当組合としても、立地や土質、森林の現況を考慮し、その地域に合った適切な森林整備を行うことで、組合員様の森林価値の向上に努めていきたいと考えています。



伐採後の枝葉が整理され、植栽が完了した様子

組合職員の意外な一面を紹介します

## Vol.3 職員の横顔



係長  
総務課  
志村恵子  
総務経理係

ネザーランドドワーフという種類のうさぎ6歳の男の子。わが家の一員です。人間でいうと52歳くらいだそうです。

うさぎは無表情な動物と思われがちですが、けっこう感情表現豊かです。楽しい時はスキップするみたいにジャンプしたり、イライラしたり怒っている時は地団駄を踏むように激しく足をダンダンとします。寝ている時にイビキをかくこともあります。

帰宅後、食事、片付けをすませるとしばらく部屋の中を自由に遊ばせます。この時間が楽しく疲れていてもすごく癒され、明日も頑張ろうという気持ちになります。

毎日のお世話は大変なこともありますが、大切な家族です。



## REPORT

## 林材ライター 赤堀楠雄さんの講演会を開催しました

5月29日、林材ライターの赤堀楠雄さんが、当組合に取材に来られました。赤堀さんはこれまで各地を訪ね、林業だけでなく木材加工・流通、木造建築、木工品、さらには山間地域の暮らしや文化など、森や木にまつわるあらゆることを取材されています。今回の訪問に合わせ、組合役職員のほか、県・市の職員も加わり「これからの山づくりと地域材利用」と題した講演会を開催。全国各地の地域に根差した林業事業体や製材業界の事例紹介を通して、今後の木材需要・消費機会拡大に向けたヒントをいただきました。



ダミー



赤堀楠雄

1963年生まれ、東京都出身。森林・林業・木材に関するフリー記者として活動。著書に「林ヲ営ム～木の価値を高める技術と経営」（農文協）などがある。長野県上田市在住。

## REPORT

## 安井建築設計大阪事務所の視察を受け入れました

4月15日に株式会社安井建築設計大阪事務所有志の皆様15名が、視察に来られました。安井建築設計グループは、国内外に拠点を構え、都市計画から建築設計、関連プログラム開発等も手掛ける総合設計企業です。

地域産木材を使った木造、木質化に対するニーズの高まりを受け、川上から川下までの流れを知りたいという要望を受け、森林林業の概略レクチャー、伐採から仕分け、製材、納材までの工程を見学いただくプログラムを立てました。当日はあいにくの雨模様で、伐採の様子をご覧いただけませんでした。間伐跡地の見学から土場での仕分け、昼食を挟んで、大津市の株式会社伊藤源にて製材の状況、宮村太設計工場の宮村氏から、地域材納材にあたってのポイントをレクチャーしていただきました。視察後、今後も新人社員研修や今回参加できなかった社員への研修等、同様の機会を設けたいとお話をいただきました。今後もこのような研修は積極的に受け入れ、川上から川下までを見通した事業展開を目指します。



組合職員の意外な一面を紹介します

## Vol.4 職員の横顔



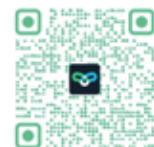
私の趣味は、吹奏楽でトロンボーンを演奏することです。中学校の部活動で出会い、その楽しさに魅了され、一般吹奏楽団を経て、今では演奏歴11年目になりました。

この楽器は、元々教会での演奏に使われていた楽器ということもあり、その美しいハーモニーが他の楽器と重なったとき、とても心地よい瞬間が訪れます。

実はトロンボーンには沢山の種類があり、音が高い順にアルト、テナー、テナーバス、バス、コントラバスまであります。それぞれ形やサイズが違います。見かけた時はぜひ音を聴いてみてください。ちなみに私は、主にバストロンボーンを吹いており、低い音域なので目立つ存在感はありませんが、縁の下の力持ちとして、ベースラインを担うとても大切な存在です。気になった方は、私が所属する吹奏楽団『ういんどあんさんぶる楽楽』の演奏会をぜひ一度見に来てくださいね。



業務課  
森林施業係  
技師  
高岸隆己



ういんど  
あんさんぶる楽楽  
リンク集





NEWS

# ダグラス・ヒートン技師が中日新聞で紹介されました

英国から京都を経て、自然豊かな高島市に移住した。市森林組合に勤め、山中で林業に汗を流す。新型コロナウイルス禍の影響で、それまでの英会話講師を辞めた。「山と自然が好き。日本人と一緒に働いてみたかった」と笑顔で語る。（松田雄亮）

ぬかるんだ斜面で、クレインが付いた無限軌道の作業車を、縦横無尽に操って現れた。スキの丸太を、慣れた手つきで作業車に次々に積み込む。「作業の進め方も準備も大切。何より、段取りが上手にならないと、作業が遅れる」



組合は市内の山で間伐や植林などの整備のほか、伐採した木々を建材やベニヤ板などに加工して販売する。職員は十九人。全員が日本人で「職場のおかげで日本語が上達した」という。同僚たちとの会話では、関西弁を駆使する。何か助言されれば「そやな！」と返す。

## 高島市森林組合勤務

### ダグラス・ヒートンさん (33)



だぐらす・ひーとん 1990年、イングランド生まれ。京都での英会話講師を経て、高島市森林組合に入った。同市マキノ町に移住して家を見て、妻と2人で暮らす。好きな日本食はラーメン、すし、お好み焼き。休日は自宅の庭に自作した、レンガのオープンでパンを焼く。

# 林業楽しい? 「そやな!」

「二〇一六年に来自し横浜に住んだ。最初は三年くらいで帰るつもりだった」という。兵庫県西宮市出身の真生さん(35)との結婚を機に、一九年春に京都に移った。

「山に向き木はない。一本一本生え方が違うから、倒れる方向も違う」と仕事の大深さを語る。チェンソーを使うときは危険を併い、気を抜けない。急斜面の現場は体にきつく、

外に出られず、仕事にストレスを感じるようになってと振り返る。二年前、琵琶湖岸の高島市マキノ町への移住を、夫婦で決めた。親しんだ京都へのアクセスが良く、のなかから、「家にもあるオンラインの仕事をするより、外で働きたい」と願っていた。京都のハローワークで森林組合の募集案内が偶然、目に留まった。

「夏は暑くて大変。春は花粉症がきつい」と笑う飛はす。そんな現場で感じる魅力に「チャレンジが多

クリンを操り、丸太を積み込むダグラスさん。高島市朽木で

い。景色も空気も良い」とを挙げる。来年にはショベルカーや、丸太を集める「グラッブル」を運転できる免許を取得する予定。「仕事の幅を増やしていきたい」と意気込む。四月には新人が二人加わり、「先輩として、後輩への指導もうまくやりたい」と情熱を燃やす。

「十代の頃は、自分のやりたいことを見つけられなかった。こうして今、林業で働いているなんて、想像もつかなかった」と明かす。「この仕事を選んで本当に良かったと思う」。「相棒」の白いヘルメットを片手に、ほほ笑んだ。



## 台風、強風対策大丈夫ですか？

台風などの強風により倒れるおそれのある住宅敷地内の立木や、成長しすぎて通行に妨げのある立木を専門の技術者を派遣して安全に伐木いたします。組合にお気軽にご相談ください。現地確認のうえ、お見積りします。

## 組合員の名義変更はお済みですか？

組合員の名義人となっておられる方から、世代交代や相続などにより他の方に名義を変更される場合や、住所の変更がございましたら、変更の手続きをお願いいたします。組合にお越しいただける場合は出資証券と印鑑をご持参ください。また、出資証券が見当たらない場合など、ご不明な点がございましたら組合までお問合せください。

## 令和5年度 第18回通常総代会の開催について

- 日時** 8月26日(土) 午前10時より
- 場所** 安曇川公民館 1階ふじのきホール (安曇川町田中89番地)



昨年の様子

## 総代の改選について

当組合の定款に定めるところにより、現総代(第6期)の任期が満了することに伴い、今年9月に総代選挙が行われます。ご協力のほどよろしくお願いいたします。



「おすすすめのお店、教えてください」(高柳)

「直径80センチ以上の大径木を  
伐ってみたい」(向井)

「自然が好きですね」(江元)

「里山ライフを  
楽しんでいます」(野崎)

New Face!

# 新入職員座談会

in 森林公園くつきの森

今春、高島市森林組合に新たに4人の職員が加わりました。年齢や経歴も様々な新入職員と、清原業務課長が、新緑が鮮やかな森林公園くつきの森を舞台に語り合いました。



## 数か月の感想と チャレンジしたいこと

**清原** 皆さん、お疲れ様です。今春から組合で働き始めて数か月が経ちましたが、まずはこれまでの感想と今後チャレンジしてみたいことはありますか。

**野崎** 今現場で見ている作業道を掘る作業や木を伐ることはもちろん、今積極的に搬出しているスギやヒノキといった木材の新たな使い方を考えてみたいです。例えば、野球のバットとか――

**高柳** まずは先輩方に追いつけるようにプランナーの仕事をきっちりと覚えたいと思っています。そのうえで、スギやヒノキだけではなく樹木の持つ新たな可能性を開拓し、組合員さんの山の価値を高める努力をしたいと思っています。

**江元** 私自身、元々木工をやっていたこともあり、木を木材として販売するだけではなく、製品づくりに取り組んでみたいと思っています。

**清原** 日々の業務を進めながらも、それぞれが色んな考えを

持ちながら業務を進行していくことはとてもいいことですね。主に現場作業を見ている向井さんはどうですか。

**向井** 木を倒す方向など自分で全ての段取りを整えて、直径80センチ以上の大径木を伐ってみたいです。得難い達成感がありそうです。



## 好きな食べ物

**清原** 私はラーメンが好きで、特に豚骨ラーメンが好きなのですが、皆さんは何が好きですか。

**高柳** すき焼きですね。以前京都に住んでいて、お店で食べる機会もあって。お正月や誕生日などハレの日に食べますね。ちなみにフルーツランキングは、1位がイチジク、2位がスイカです。

**野崎** カレーライスやハヤシライスが好きです。また魚ではサバが好きで、昼休みにサバ寿司を買いに行って食べて楽しんでいます。今後、鯖街道の色んなお店のものを食べてみたいです。



向井 優佳 むかい ゆうか

業務課森林施業係

「未来に向けた森づくりのために、現場施業を頑張る」

野崎 将司 のざき しょうじ

業務課森林施業係

「山の施業を通し、山主さん・組合員さんへ  
貢献していきたいと考える」

**向井** 私は牛乳や乳製品が好きです。自宅でヨーグルトを作りますが、最近はギリシャヨーグルトにはまっていて、このヨーグルトは濾す工程があるため、牛乳の消費量が急増しています。ちなみに私の実家に近い蒜山ジャージー牛乳がおすすめです。

**江元** ウナギですね。海で自分で釣ってかば焼きにして楽しんでいます。

## 高島市での新生活

**清原** 皆さん春から生活環境が変わったかと思いますが、私生活含めて最近はどのように過ごしていますか。

**野崎** 入組を機に、福井県の自然豊かな仮屋に移住してきました。新たな地で、ご近所の皆さんと物々交換をするなど交流しながら里山ライフを楽しんでいます。

**江元** 最近は、自宅の七輪で火を熾して、お肉を焼いて食べて楽しんでいます。また休みの日は溪流釣りやうなぎ釣りなどアウトドアでの遊びを楽しんでいます。自然が好きですね。



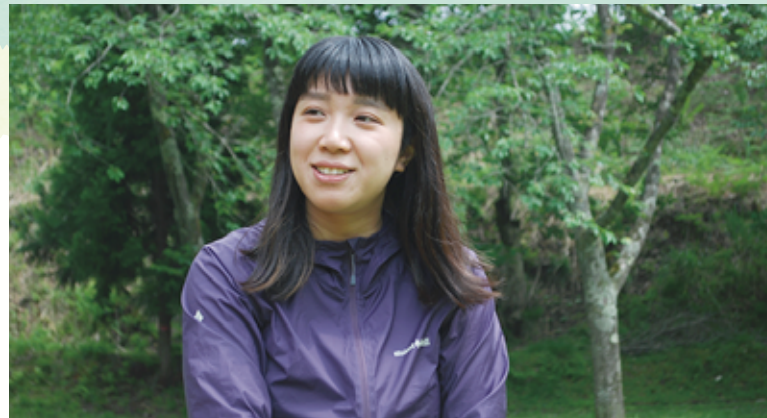
**清原 猛史** きよはら たけし

業務課森林計画係

**高柳** 私はこれまで名古屋、京都と都市部で過ごしてきましたので、ようやくこちらの自宅周辺の暗さに慣れました。これからは美味しいお店を探して周りたいですね。またおすすめのお店があれば教えてもらえると嬉しいです。

**向井** 私も入組を機に引っ越してきましたので、最近は自宅のレイアウトを考え、量販店で少しずつ家具を揃えて楽しんでいます。

**清原** ありがとうございます。みんなそれぞれの高島ライフを楽しんでもらえているようで良かったです。新たな仲間を迎え、山や木について様々な見方や考え方をを持った人が集まっていることはとても良いことだと思っています。みんなで色々なアイデアを出しながら、今度もチャレンジを続けていければと思います。



**高柳 美里** たかやなぎ みさと

業務課森林計画係

「自然の中で過ごすのを好み、豊かな山の景色と面白さを後世に残し伝えたい」



**江元 遥** えもとはるか

業務課木材管理係

「木工の材料として扱ってきた木材の生産や管理、流通に興味を持つ」

## 取材場所



### 森林公園くつきの森

高島市朽木麻生の標高約200mから400mに位置する約150haの森林で、かつてのホトラ山や針葉樹林が自然豊かな森を形成している。季節ごとに様々なイベントも開催！

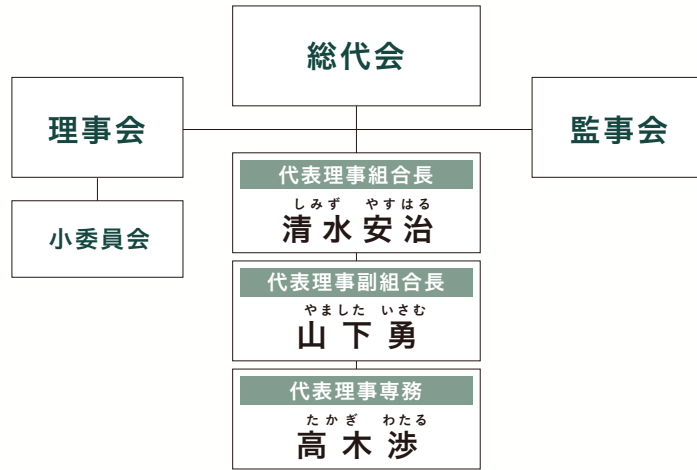
- 所在地：滋賀県高島市朽木麻生443
- 開園時間：午前9時～午後4時
- 入園料：大人200円、小中学生100円、幼児無料
- アクセス：JR「安曇川駅」下車、朽木線バス「朽木支所前」下車、横谷・木地山線バス「くつきの森」下車、徒歩約2分
- 定休：火曜日
- 問い合わせ：NPO法人麻生里山センター  
TEL 0740-38-8099  
HP <https://npo.kutsukinomori.net/>

# 高島市森林組合組織図

令和5年6月1日現在

常勤理事 : 1名  
 非常勤理事 : 13名  
 非常勤監事 : 3名  
 合計 : 17名

職員 (アルバイト含む)  
 男性 : 12名  
 女性 : 6名  
 合計 : 18名



**業務課業務内容**  
 受託造林、作業路開設、施業集約化、森林経営計画、加工品販売、病虫害防除、素材販売、運搬、県営林・市有林・造林公社事業、署請負事業、安全管理指導など

**総務課業務内容**  
 役職員の福利厚生・労務管理、会計、庶務、組合員管理、財産管理、受託造林精算事務、森林保険事業、購買事業、一人親方事務など  
 椎茸菌床生産の指導管理

業 務 課		
課長 きよはら たけし <b>清原 猛史</b>		
森林計画係	森林施業係	木材管理係
係長 (兼務) きよはら たけし <b>清原 猛史</b>	係長 (兼務) きよはら たけし <b>清原 猛史</b>	主任 またの ながゆき <b>俣野 長之</b>
主任 (兼務) またの ながゆき <b>俣野 長之</b>	技師 くるみ よしたか <b>来見 嘉卓</b>	技師 ヒートン・ダグラス・リチャード
主任 かつらだ こうた <b>桂田 孝太</b>	技師 たかぎし りゅうき <b>高岸 隆己</b>	技師 のざき しょうじ <b>野崎 将司</b>
技師 きたおか こうた <b>北岡 孝太</b>	技師 むかい ゆうか <b>向井 優佳</b>	嘱託職員 いとう かずゆき <b>伊藤 和幸</b>
技師 たかやなぎ みさと <b>高柳 美里</b>		

総 務 課
課長 かい ふみお <b>甲斐 文男</b>
総務経理係
係長 しむら けいこ <b>志村 恵子</b>
主事 あいば いくえ <b>饗庭 郁恵</b>
パート職員 ふじもと みちよ <b>藤本 美千代</b>
椎茸菌床生産係
パート職員 えんぐち ちはる <b>圓口 千春</b>

## アンケート&プレゼント

締め切り 8月31日(木)

■応募方法

インターネットのアンケートフォームか、はがきにより回答・ご応募ください。

【インターネット】右のQRコードより、アンケートフォームへお進みください。

【はがき】はがきに、①氏名(ふりがな)、②郵便番号・住所、③電話番号、④年齢、⑤山林所有の有無⑥本誌の満足度(1不満~5満足)、⑦面白かった記事、⑧ご意見・ご感想、⑨ご希望のプレゼントを記載のうえ、下記「組合だよりアンケート係」までお送りください。

※当選者の発表は商品の発送をもってかえさせていただきます。

※応募いただきました個人情報は厳正に管理し、目的以外には使用しません。

ヒルスプレー スキンペーパー 10名

チップソー 10名

マキノ高原温泉さらさ入浴券 5組10名

くつき温泉てんくうお風呂ギフト券 5組10名

アンケートフォームはこちら

## 高島市森林組合

HP <https://takashima-forest.jp/>  
 〒520-1412 滋賀県高島市朽木野尻 364-2

電話 0740-38-2214

FAX 0740-38-3277

メール [info@takashima-forest.jp](mailto:info@takashima-forest.jp)



高島市森林組合 HP



Instagram @takashima\_forest